

【監査懇話会・監査実務研究会・特別 WEB セミナー】

2021 年 8 月 5 日

- 日 時：8 月 5 日（木）14 時～17 時
- テーマ：CG 改革の成果と課題、今後の方向性と監査役等への期待～投資家の立場から
- 講 師：アストナリング・アドバイザーLLC 代表 三瓶 裕喜氏
- 開催形式：ZOOM 会議（報告＆質疑応答）録画を後日 youtube にて会員・会友限定公開

●参加者（敬称略）

板垣 隆夫（元・日本オキシラン(株)）（司会） 金馬 房雄（元・日新電機(株)）
小林 正一（サイバートラスト(株)） 下村 恒一（石油資源開発(株)）
本田 安弘（元・トーセイ(株)） 森川 英治（元・リーフラス(株)）
森本 親治（元・稲畑産業(株)、(株)ロックオン）

●概略時間割

14：00～14：10 本番（録画）スタート、趣旨説明（板垣）とメンバー自己紹介
14：10～15：10 三瓶先生のご報告
15：10～15：40 懇話会メンバーコメント①（森川、下村×10(MAX15 分)、三瓶先生リプライ
15：40～15：50 休憩
15：50～16：15 懇話会メンバーコメント②（5 人×3 分)、三瓶先生リプライ
16：15～16：55 全体ディスカッション
16：55～17：00 まとめ（三瓶先生、金馬副会長）

●講師略歴 三瓶 裕喜（さんぺい ひろき）

アストナリング・アドバイザーLLC 代表、一橋大学 CFO 教育研究センター客員研究員・財務リーダーシッププログラム学外講師。2021 年 4 月、上場企業の企業価値向上への助言、機関投資家のスチュワードシップ活動支援を行うアストナリング社を設立。1987 年、早稲田大学理工学部卒業後、日本生命保険相互会社入社。国際投資部門で外国株式投資に従事。英国大手運用会社との JV(ロンドン)にて CEO を経験。03 年からニッセイアセットマネジメントにて、国内株式投資、企業調査・運用体制刷新に従事。日本初のスチュワードシップ・ファンドを設定、国内株式統括部長。07 年から 21 年までフィデリティ投信にて企業調査部門統括及びスチュワードシップ活動の責任者。経済産業省の各種検討会・研究会委員、金融審議会専門委員、金融庁フォローアップ会議メンバー、法制審議会会社法制（企業統治等関係）部会委員などを務める。機関投資家が問題意識を発信する「投資家フォーラム」の共同設立メンバー・運営委員。

著書・論考に「価値向上のための対話」（日本経済新聞出版社）、「特集～機関投資家とコーポレート・ガバナンス～議決権行使結果の開示」（ジュリスト 2018 年 2 月号）、「新型コロナウイルス感染症拡大下での上場企業への期待」（旬刊商事法務 2020 年 4 月 25 日号）、「『公正な M&A の在り方に関する指針』の解説」（経済産業省監修、商事法務）、「連載 新・改正会社法セミナー」（ジュリスト 2021 年 4 月号～）、「2021 年コーポレートガバナンスの現在地～資本コスト経営～」（旬刊商事法務 2021 年 7 月 5 日号予定）、「コーポレートガバナンス・コードの実践・第三版」（近日出版予定、日経 BP）など。

以上